

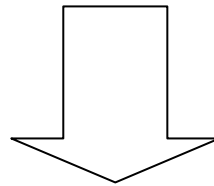
自動車班

上嶋 健介
佐々木 知也
宮本 大輔
山室 俊介



中古部品市場の拡大

自動車リサイクル法の実効をあげる



中古部品市場を拡大
メーカーと解体業者との関わりに注目！

発表の流れ

自動車リサイクル法のもとでのリサイクル率向上のため
中古部品市場を拡大する必要がある

<国内>

- ・なぜ市場が小さいのか
- ・その解決策はあるか

<海外>

- ・なぜ輸出があるか
- ・その問題点は何か
- ・解決策はあるか

まとめ

なぜ国内の市場が小さいのか

- 認知度
- 消費者の行動
- 部品の品質・保証への不安
- 部品の入手(納品率40%)
- 保険



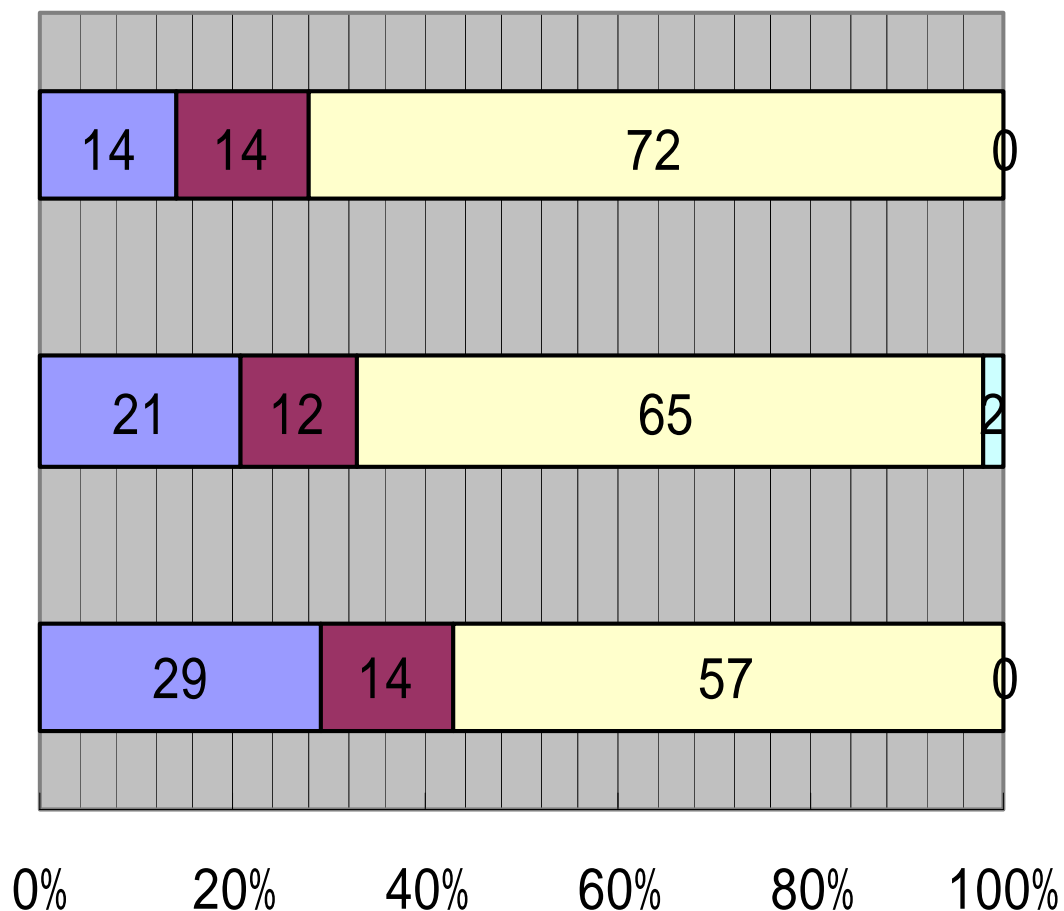
(C)masato.w

ユーザーの認知度

リサイクル部品を全く知らなかった	19%
名前は知っていたが、内容は知らなかった	35%
使用済み自動車からのものだと知っていた	13%
リユース・リビルトがあることを知っていた	22%
リユース・リビルトとも良く知っていた	11%
合計	100%

(出典)自動車部品流通戦略研究所

中古部品を購入したユーザーの 認識の変化



- 簡単な紹介
- 詳しい説明
- 見積書作成後の説明
- 不明

リサイクル部品の利用に対する考え方(複数回答)

品質や保証がしっかりしているのであれば、利用しても気にならない	37%
品質が新品部品に比べて多少劣ったとしても価格メリットは大きい	19%
環境にやさしいのであれば、利用すべき	11%
古くなった車や車種によっては利用しても構わないと思う	24%
万一のことを考えると不安はある	0%
価格のメリットはそれほど大きくない	1%
環境保全よりも品質が最優先である	0%
新車や保険が適応される場合には新品部品を使いたい	8%

(出典)自動車部品流通戦略研究所

解決策

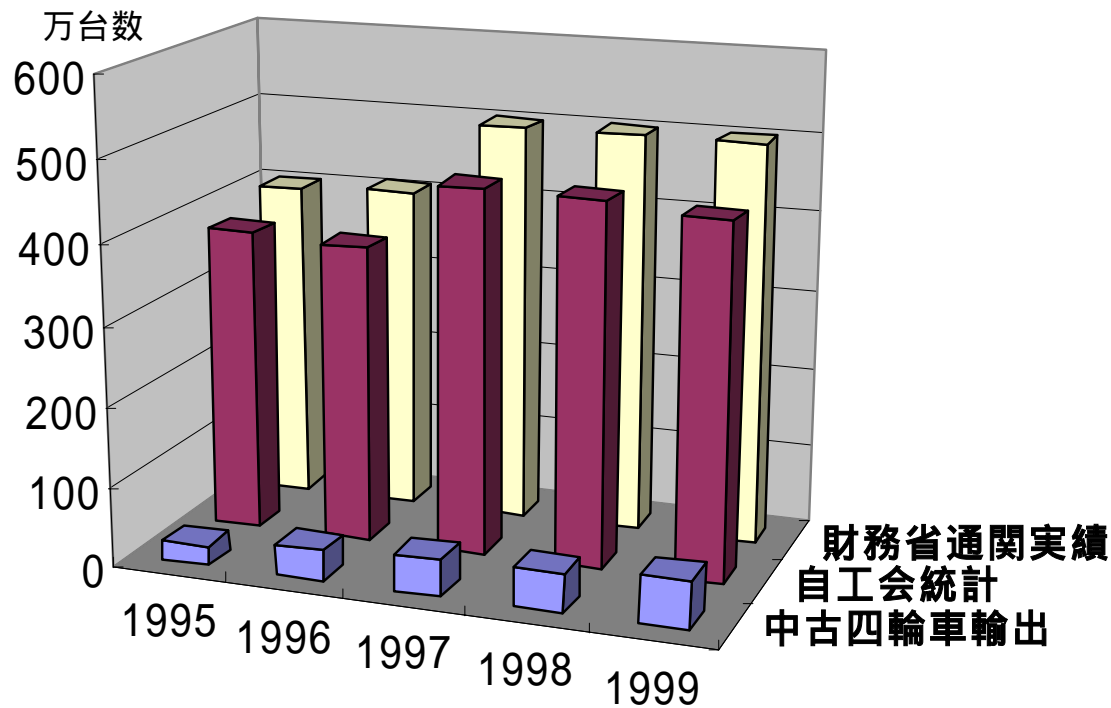
- 消費者へのアピール
- 品質基準の統一
- 保証
- ネットワークの構築
- 保険商品の開発
- メーカーの行動



なぜ輸出されるのか？

輸出の現状

中古四輪車輸出台数の推移



解体業者にとっての輸出

- 鉄スクラップ価格下落を契機に、鉄スクラップ販売から中古部品販売へと転換



中古部品の輸出に頼る

- 解体より輸出の方がコストが低い場合もある

海外で需要がある理由

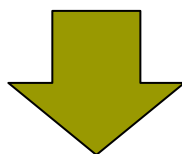
- 耐久性が高く、整備状態が比較的良い日本車が低価格で手に入る
- 中国など、経済成長著しい地域では大きな鉄鋼需要がある
- 日本から年間約500万台以上の新車、そして中古車の輸出
補修用部品としての需要



輸出の問題点

□ 公害輸出

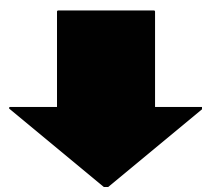
自動車中古部品が再生資源として輸出されても、その中に有害物質が含まれていると、輸出先で**環境問題**や**公害**を発生させる可能性



バーゼル条約登場！

輸出の是非、そして解決策

輸出の是非は問えない



解決策は？

(提案)

メーカーによる相手国へのリサイクル面での技術的サポート

まとめ

国内

- 既存のシステムを残してメーカーと解体業者が関わる必要がある

海外

- 解体業者は輸出を頼りにしている
- メーカーによる海外への技術的援助が必要

